

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」
初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン掲載）

【第61回】

「渡田小学校わくわくプラザ」
～子どもたちの健やかな成長を願って～

川崎市立渡田小学校長 川口 和子

「ただいま」「おかえりなさい」の元気な挨拶から、今日も渡田小学校「わくわくプラザ」が始まりました。必要な物を取り出し、ランドセルを棚に納めてからいつものように宿題や読書を始める子どもたち。子ども委員を中心に時計を見ながら、校庭でドッジボールをしたりプラザ室で室内ゲームをしたり、活動を自分たちで進めていきます。渡田小学校の全児童625名のうち276名が登録、お隣の田島養護学校小学部から通う子どもたちも一緒に、毎日60名近くが同学年異学年を問わず仲良く規則正しい放課後を学校と同じ敷地内にあるわくわくプラザで過ごしています。

わくわくプラザ事業は、平成15年度に市内114（平成23年度現在113）の小学校の敷地内に、小学校に通う全ての児童を対象に設置されました。現在、児童館であるこども文化センターの指定管理者によって運営され、日曜日、祝日、年末年始を除き月曜日から金曜日までは毎日放課後から午後6時まで、土曜日と長期休業中等は午前8時30分から午後6時まで、開設されています。学校はこども文化センターの館長やスタッフ（主に地域の方々と構成）と常に情報交換を行い、子どもたちの安全安心に努めています。わくわくプラザで育った子どもたちは、自然とこども文化センターにも通うようになり、各行事の実行委員や運営委員を務めるように育っています。「子どもたちの成長が私たちの生き甲斐。」と言ってくれる館長やスタッフの皆さんとともに、これからも子どもたちの健やかな成長を見守っていきたいと思っています。

（初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン）第200号に掲載）